

平成 28 年 9 月 5 日

各 位

会 社 名 日本商業開発株式会社  
代表者名 代表取締役社長 松岡 哲也  
(コード番号 3252 東証・名証第一部)  
問合せ先 専務取締役  
東京営業本部長 永岡 幸憲  
(TEL 03 - 6895 - 0070)

当社連結子会社ニューリアルプロパティ株式会社  
による香港 MOM 事業参画のお知らせ

当社連結子会社であるニューリアルプロパティ株式会社（以下、「NRP」といいます。）は、香港イースタン・ハーバー・トンネル（\*1）道路部の運営管理事業（\*2）を、香港特別行政区から受託した会社に、株式会社熊谷組との投資合弁会社を通じて参画することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

（\*1）Eastern Harbour Crossing、「EHC」といいます。

（\*2）Management Operation Maintenance、「MOM 事業」といいます。

記

1. 事業の経緯

香港イースタン・ハーバー・トンネル（\*1）は、CITIC 社（中国中信股份有限公司）の関連子会社と株式会社熊谷組（\*3）を中心とした共同事業により設立されたニュー・ホンコン・トンネル社（\*4）を通じて、昭和 61 年（1986 年）8 月 7 日から 30 年間に渡り、BOT 事業（\*5）を行って参りました。

（\*3）平成 15 年（2003 年）10 月からは、熊谷組の会社分割により新設された NRP が熊谷組出資持分を承継しました。

（\*4）New Hong Kong Tunnel Company Limited、「NHKTC 社」といいます。

（\*5）Built Operate Transfer の略語で施設建設、施設所有管理運営、事業譲渡を意味します。

ニュー・ホンコン・トンネル社（\*4）は、平成 28 年（2016 年）8 月 6 日の BOT 事業期間終了により、香港イースタン・ハーバー・トンネル（\*1）の施設を香港特別行政区に返還いたしました。香港特別行政区は、同施設返還後の管理運営を民間事業者へ委託するために MOM 事業（\*2）の公開入札を行いました。この入札に際して、CITIC 社（中国中信股份有限公司）の 100%子会社である CITIC パシフィック社が新設した管理運営会社（Pacific

Infrastructure Limited、以下、「PIL 社」といいます。) が落札しました。これに先立って予てより行っていた、CITIC 社 (中国中信股份有限公司) と熊谷組及び NRP との間における合意に基づいて、熊谷組及び NRP が共同で設立した投資合弁会社 Kumagai NRP International Limited によって、CITIC パシフィック社から PIL 社への出資持分の一部を取得し、香港MOM事業に参画するものです。

## 2. 事業の対象となる物件

香港イースタン・ハーバー・トンネル (\* 1) は、香港島クォーリベイ地区と九龍半島チャウリン地区を結ぶ全長 2.2km、片側 2 車線計 4 車線の海底トンネルです。一日あたりの交通量は約 75,000 台であり、今後も香港経済を支える大動脈としての役割を期待されています。



香港東部海底トンネル (EHC)

## 3. 今後の見通し

本事業参画については、当社グループの当期の業績等に与える影響は軽微であります、業績予想の修正が必要と判断される場合には、速やかに開示いたします。

## 4. 今後の展開

当社は、NRP を通じて、NRP がこれまで手掛けた複数の海外 PFI (Private Finance Initiative) 事業で培ったノウハウを生かし、新興国にて計画される PFI 事業へ展開すること、更に、パートナーであり、海外インフラ工事に実績の高い熊谷組及び中国政府と強いパイプを有する投資会社である CITIC 社 (中国中信股份有限公司) との関係を深化させ、新規ビジネスに繋げること、また、香港特別行政区にて今後計画されている運営管理期間の満了する既存 PFI 事業への参画、既存並びに新設の MOM 事業に参画することで香港特別行政区における事業展開を図っていきたいと考えております。

以上